

「真宗の葬儀」

—葬儀・死・儀式—について

コロナウィルス発症以来、仏事の簡略化が激しい昨今、葬儀を執行する者として大切にしていきたい事を確認したいと思います。

大切な人を亡くされて葬儀をする時、僧侶（人間）としてどのように葬儀に関わるのでしょうか？遺族の悲しみに寄り添いたいと思っても、遺族との交流を深める事も出来ないまま葬儀等の法要を執行する事が多いと感じています。そんな私たちにお勤めの言葉（親鸞聖人のみ教え）が大切な事を教えてくださっているのだと思います。

その人は生きたという尊い事実には私たちは手を合わさずにいられない存在です。亡き人のいのちを大切にする法要を訪ねていきたいと思います。

日	時	7月24日（木）14時～16時まで	
講	題	「浄土へ、浄土から」	
講	師	梶原 敬一 氏	姫路第一病院小児科部長 真宗大谷派僧侶

■会 場 三河別院庫裡

■対 象 僧侶、門徒、一般

（僧侶の方は、間衣・輪袈裟を着用ください。）

■持ち物 真宗聖典

■会 費 一回500円

＜次回のお知らせ＞ 日 時 9月11日（木）14時～16時まで
テーマ 葬儀のお勤め
講 師 鬼頭 武志 氏

主 催：三河地域教化センター 儀式部

問い合わせ：真宗大谷派三河別院

岡崎市中町野添 25 番地 TEL 0564-21-0625

岡崎教区 HP：<http://www.okazaki-kyoku.net>